

# シルバー人材の利活用を



高宮 今朝秀

**高宮** 退職等された方々の、過去に培ってこられた専門職を生かした活動組織作りと今後の対応は。

**岡田高齢者支援課長** 高齢者の就労による生きがいと、社会参加への促進を目的に、社会福祉協議会の業務として「シルバー人材センター」を設置しています。内容は草取り、庭木の剪定、部屋・お墓の掃除などの軽作業をやっており、22年度の実績は、登録会員27名と少ないですが作業件数は157件でした。

**高宮** 力仕事ばかりでなく、知的労働も取り入れた委託者、受託者への啓発活動を。

**江藤市民部長** 賃金の事も絡みます。社協と一緒に取り組みながら、事業の開発も含め検討していききたいと思います。

## 阿蘇市中央公園条例制定に関して

**高宮** 今議会でも条例が制定されたが、あそ☆ビバとリンクした健康づくり公園について如何お考えか。

**井野企画振興課長** 大規模なりニュー



阿蘇市中央公園

ーアルの案もありましたが、現在のところ散策コースにクッション性のある間伐材等のウッドチップを敷き詰め、ひざの負担を軽くすることで健康づくりの一翼を担うことが可能かどうかの検証をしています。

**高宮** 阿蘇市内には数多くの公園・施設が点在しているので、中長期的な計画の中で整備を確実に進めてもらいたい。

**企画振興課長** 中央公園を含め地元の方に愛着を持って頂けるように、また利用管理して頂けるよう地域の方との協力関係を保ち、補助事業等があればやって行きたいと思えます。

# 6次産業の未来に向けて・阿蘇西ふれあい市場『あかみず』について ・農業委員の女性登用について



田中 弘子

**田中** 6次産業について市の対応は、産業法が実施されました。県下でも12の団体・個人があり、阿蘇市においては1件あります。生産、加工、流通販売部分の一体化した所の支援を講じています。国から直轄支払いの関係で、農家への周知が十分などところもあるかもしれません。市としては、販売戦略流通部分を主に支援していくつもりです。

**副市長** 農産物生産について、県と行政とJAと生産者の方が協力し、話し合いをしていけば、将来に希望が持てるのではないかと思います。

**田中** 阿蘇西ふれあい市場『あかみず』について

**井野企画振興課長** 4月23日にオーピングイベントがあり、4月8月で1万3,940人のお客様に品物をお買い求めいただいたと報告を受けています。今後は、告知看板等で周知を図り、組合の方にもお願いして良質の品物を販売していただき、リピーターを増やしていただければ

うにお願いしています。  
**市長** これから先は企画力。取り組み方をどうしていくのか、一層創意工夫をすべきことでもあります。人の流れ、車の流れを考え、看板等をきちんと設置しなくてはなりません。これからも責任をもって内容の充実したものに取り組みたいです。

**田中** 農業委員の女性登用について  
**副市長** 現在、農業従事者の54%は女性が占めております。現在一人ですが、責任をもって活動されており、市長にお願いし、議会推薦、農業委員会もありますので、私たちも協力していきます。

## 【6次産業とは】

農林業などの1次産業者が、商品加工したり(2次産業)、直売所を始めたりなど(3次産業)、生産と加工・販売の一体化により素材に付加価値をつける、活力ある農業・農村を目指す新しい産業(1次×2次×3次=6次)のこと。

豊富な地域資源を活用した新たな事業が創出され、農山村地域の活性化や雇用確保、所得向上が期待されている。

# 新阿蘇中央病院ヘリポート建設について



市原 正

**市原** 6月定例会からの継続質問です。このヘリポートの件は、当初「あぴか」での対応ということから

段々話が進み、6月の一般質問や8月の全員協議会で前向きに検討するという回答をもらっているが、私がなぜ、このことにこだわるのか。県

が12月からドクターヘリの導入を決定しているし、それ以上に阿蘇山という活火山があり、想定外の災害発生を考えたとき、今回の改築を機に

きちんと備えをすべきであると考えたからに他ならない。中央病院事務局長に答弁を求めます。

**岩下事務局長** 現在、阿蘇中央病院では基本計画を進めており、基本設計の中で防災関係のヘリが発着できるスペースは確保しようということ

で計画を進めています。そういった段階で最終的にどこまで整備するかというのは、まだ今からでございますが、一応スペースだけ

は確保するということになっております。

**市原** 一応スペースは確保するという回答をいただいたが、是非きちんとしたヘリポートの建設を強く求める。関連であるが、ドクターヘリと防災ヘリの違いは何か。

**事務局長** ドクターヘリは、医師・看護師が同乗し、搬送中に初期診療を行うもので、防災ヘリは主に患者の早期の搬送を目的としています。

他に、「阿蘇市農業政策（具体的目玉政策の必要性）」について、「光ネット、お知らせ端末の利活用について」の質問がありました。



防災ヘリ

# 今後の草原再生について



井手 明 廣

**井手** 阿蘇の草原再生募金が、1千522万円、その中でボランティアを支援する活動助成金に362万円、何に使われるのか。

**渡邊経済部長** ボランティア自体は無償での活動ですので、活動に要する刈払機の刃や燃料等に使用されているものと思います。

**井手** 草原特区についての考えを。市原 阿蘇は世界文化遺産を目指しております。そんな中に国の政策の中で特区構想というものが出てまいりました。日本経済もだんだん落ち込んでまいりましたが、国の方針で

出来上がってきた訳であり、何とか指定をいただき、総合的な国の支援で草原景観の維持と、地域経済の発展を進めてまいりたいと思います。

## 草本系バイオマスエネルギー事業について

**井手** 5年間の実証実験も終わり、平成22年度から市独自でやってきた事業の経過と成果は。



牛の放牧風景

**橋本市環境課長** 平成22年度からは、この事業で導入した設備一式が阿蘇市の所有となっており、エネルギー転換部門と、採草部門の二つに分けて取り組んできました。エネルギー転換部門については、ガス開発発電設備としてのプラントの安全運転、効率運転を目指してきましたが、収支の改善が出来なかつた状況です。又採草部門については、採草面積が約45haで、採草量は147tでした。堆肥や飼料用等、野草の需要がとても多いことが分かり、今後は需要者のニーズに合う野草を収集すべきと考えています。